

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	アルゴリズム基礎論演習		
英文授業科目名	Exercises in Fundamental Algorithms		
開講年度	2008年度	開講年次	2年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	専門科目-学科専門科目-必修科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科		
担当教官名	高橋 治久		
居室	総合研究棟827		

公開E-Mail	授業関連Webページ
takahasi@ice.uec.ac.jp	http://www.htlab.ice.uec.ac.jp/Jpn/index.html

【主題および達成目標】
<p>(a) 主題：アルゴリズム基礎論の内容を身につけるため、実際にパスカルでプログラムを作り実行する。内容は プログラミングの復習，数値計算，線形リスト，スタック，二分木と二分探索木である。</p> <p>(b) 達成目標：上記プログラミングを行うことにより，基礎的なプログラム技術を身につけ，アルゴリズムの基礎 について理解する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
基礎プログラミング演習

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
離散数学

【教科書等】
<p>教科書：アルゴリズムとデータ構造，茨木俊秀著 昭昇堂</p> <p>参考書：Cによるアルゴリズムとデータ構造，茨木俊秀著 昭昇堂</p>

【授業内容とその進め方】

課題1—5の5課題あり、授業に沿って行う。

IEDのHPから、教材へ入り、アルゴリズム基礎論をクリックする。

各課題は、最初に解説があり、次に問題があるので、毎回良く読むこと。

予定：（前年度の予定を示す。今年度は日にちがずれるがだいたい同様の日程で行う）

10/2 説明会

9, 23, 課題1(2回)

10/30, 11/6, 課題2(2回)

11/13, 27, 12/4 課題3(3回)

12/11, 18, 1/8 課題4(3回)

1/22, 29 2/5 課題5(3回)

予備日

どの課題についても最初に説明を行う。詳しい内容はHPに書いてあるのでそれを読みながらプログラミングをすすめる。各自自分でプログラムを組むことが最も大切である。またエラーが出た場合にも自分でよく考えること。但しエラーメッセージの意味については分からなければ担当教員やTAに質問し、具体的な作業は基本的に自分で行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

[各課題の提出日は、課題終了後一週間以内]

レポートはメールで提出する。

提出先：TA

提出法：subject欄には

exercise No1 課題番号

をいれ、課題が途中で後で再提出する場合は

exercise No1:tentative

とかく。

また提出メールの先頭に以下の情報を書く。

課題番号

提出日

ログイン名

学生基盤号

氏名

試験は行わないが、各課題について毎回レポートを提出する。

レポートは5回分在る。上記授業内容とその進め方に従ってレポートを提出する。

基本的に出席は必須である。

毎回レポートを提出し必要事項がよく書かれていれば、100点。

内容に従って、完成したレポートが提出されていればAとなる。

不完全なレポート（例えばやりかけなど）が混入した場合はその程度に従って減点される。

なお、合格点は最低すべてのレポートが提出されていることである。

電気通信大学 平成20年度シラバス

--

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、メールなどで事前にアポイントを取ること。また質問等は電子メールでも受け付ける。

【学生へのメッセージ】

プログラミングは、どのような分野であろうと今や必須である。そのための基礎を養う良い機会であるので各自自分で一生懸命プログラムを組むことが大切である。言語はパスカルを基本としているが、Cで行いたい場合にも対応している。（参考図書参照）

【その他】

--